

○ 稲沢市こども計画案パブリックコメントの実施結果について

- 1 募集期間 令和6年12月11日（水）から令和7年1月10日（金）まで
- 2 提出者数 3人
- 3 意見件数 10件
- 4 提出された御意見の要旨と市の考え方
（御意見は、文意等を損なわないように要約等させていただいています）

・ 障がい児について

	御意見の要旨	市の考え方
1	新たに開設される児童発達支援センターで ひまわり園に通う親と障がいのある子を育ててきた方々の交流機会や勉強会を開催して欲しい。	障がいのあるこどもを育てる家族が安心して子育てを行うことができるよう、勉強会や意見交換会などの開催を検討し、交流機会の提供に努めます。
2	児童発達支援センターへの移転を好機となるよう療育内容の改革を望みます。	児童発達支援センターとして、計画的な人材育成に取組み、より高度な専門性と幅広い知識を利用者へ提供できるように療育内容の充実を図ります。
3	他の近隣自治体が開催している福祉事業所の事業所相談会を市主催で開催して欲しい。就労に向けてのステップアップに繋がる機会になると思います。	御意見のとおり、福祉事業所と繋がりを持つことは就労に向けての第一歩になると考えております。相談会の開催については、近隣自治体等が開催している同様の事業を調査し、検討してまいります。

・ 若者の就労について

4	若者サポートステーションは実施されているのか。どこに相談すれば良いのかを明確にし、ホームページにも掲載して欲しい。	市においては、いちのみや若者サポートステーションのキャリアカウンセラーによる出張相談を月に1回開催しております。 相談には、いちのみや若者サポートステーションへの事前予約が必要です。 市ホームページには、「若者の就労無料相談」というタイトルで掲載しております。 https://www.city.inazawa.aichi.jp/0000000887.html
---	---	---

・ 母子保健について

5	子育て支援の一環として、妊娠前の不妊治療の助成を拡大させて欲しい。 具体的には、保険適用外の不妊治療に対しても助成金の交付。蒲郡市のように「回数制限なし」がのぞましいが、予算の都合もあるので、保険適用内は年間25万円（現行）保険適用外は50万円にしてはどうでしょうか？	不妊治療費補助事業につきましては、国の考え方、他市の状況等を参考に、総合的に判断してまいります。
---	---	--

・計画（案）について

6	P11 こどものいる世帯の推移（グラフと文書） 「核家族世帯は18歳未満のこどものいる世帯では、増加が続いています。」となっていますが、平成27年から令和2年に対しては減少していますので、「増加傾向にある。」との表現が適切だと思います。	適切な表現に修正させていただきます。
7	P16 幼稚園の定員数と在籍者数 上段の推移グラフに令和6年度も加えた方が見やすいと思います。下段の表が令和6年を説明しているため。	P15 からの稲沢市の子育て支援の状況につきましては、令和5年度までの実績をもってグラフや表を作成しております。そのため、ほかの表とのバランスを鑑み、推移グラフを現行のとおりとさせていただきます。
8	P21 基本目標1 家庭における子育てへの支援の評価（文書内の後半3行部分） 病児・病後児保育施設の整備は今後進めていく事業に対して、文書の末尾が「……を整えました。」となると実施した事業のような受け止め方をしてしまいます。	適切な表現に修正させていただきます。
9	P58 基本施策④ 家庭・地域の子育て力・教育力の向上 他の施策に比べて、「地域全体でこどもの成長を見守る体制づくり」のための施策が少なすぎます。施策の検討をお願いします。	地域全体でこどもの成長を見守る体制づくりの推進は重要なものと理解しております。各施策の中で、様々な講座・イベントを通して地域の交流の機会を設けておりますが、ご意見を参考に充実した施策が実施できるよう努めてまいります。
10	P69 基本施策⑤ 多様な文化を持ったこども家庭への支援 日本語初期指導教室「プレクラス」の設置の記載があります。P93には「日本語指導教室の実施」という施策が記載されています。別の施策だと思われるので、この基本施策⑤に「日本語指導教室の実施」も追加してはどうでしょうか。	お見込みのとおり、「日本語初期指導教室「プレクラス」と「日本語指導教室」は別の施策となっております。 P93はこどもの貧困に係る施策にあたり、掲載箇所が誤っていましたので削除し、P69に新たに「日本語指導教室の実施」を追加いたします。